

蒲郡市の障害者福祉施策

福祉課 (☎66-11106)
 児童課 (☎66-11108)

心身に障害をもったとき

心身に障害を持った人が福祉制度を利用するときには手帳が必要です。

身体障害者手帳の交付

○対象者

目、耳、手足、体幹、心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸に法律で定められた障害をもっている人

○申請に必要な書類等

- ・身体障害者手帳交付申請書
- ・指定医師の診断書
- ・写真(上半身 縦4cm×横3cm)

療育手帳の交付

○対象者

おおむね18歳以前に知的障害が認められ、1Q(知能指数)が75以下の人

められ、1Q(知能指数)が75以下の人

- 申請に必要な書類等
- ・療育手帳交付申請書
- ・写真(上半身 縦4cm×横3cm)

ご利用ください 各種福祉制度

ここに掲載した制度は、障害者福祉制度の一部です。他にも皆さんの役に立つ制度がありますので、福祉課または児童課へお気軽におたずねください。

各種手当

心身障害者扶助料の支給

蒲郡市に住所があり、身体障害者手帳又は療育手帳を所有している人に扶助料を支給します。

津田美知子著「視覚障害者にわかりやすい都市デザインの研究」より

『さりげない関係がいい』

—ある障害を持った人の話—

26歳のとき事故で失明。病院での歩行訓練と専門施設での生活・職業訓練を受け、現在コンピュータのシステムエンジニアとして社会復帰している。

晴眼者(普通に眼の見える人)

同士であれば、笑って過ごせる失敗や断つても納得してもらえることが、晴眼者と視覚障害者の関係においては別の関係になってしまふ。自分は少し前まで晴眼者であっただけに、この関係に敏感になる。

会社の1階で、今日は階段で行くかと思いついて階段を探していた。その時「エレベーターはこちらですよ」と教えてくれた人がいた。そんな時、せっかくなりに親切に言ってくれたのだから「ありがとう」と言っただけで、エレベーターで行けばよいのだが、その通りにすることもいやだし、晴眼者だった頃の自分の経験から断つたときの相手の気持ちもわかる。かといって、相手の気持ちばかりを気にすることも納得できない。

駅で介助を申し出てくれる人が

いた場合、自分には必要ないと断つてしまえば、次にその人が困っている視覚障害者を見た時、介助を申し出ること躊躇するのではないかと気にかかる。

ところが、毎日通勤していると、まわりの人は自分のことをよく観察しているらしく、日頃は声をかけず放っておいてくれる。何ができていないのかをわかってくれているらしい。たまたま、バスの停留所が変わった日に「今日はいつもと違うところに止まったから、一緒に行くか」と言ってくれた。こういうよくわかった上でのさりげない関係がいい。

眼の見えない人が一人で電車に乗るなど想像もできないといった晴眼者が多い。晴眼者におろおろされると、かえってこちらが困る。視覚障害者でも人並みのことができるといった基本的なことを知らない、危ないからと歩かせても基本のないことになりかねない。基本的なことをわかってもらえたら、状況に応じて晴眼者と視覚障害者の関係は発展すると思う。